

「生涯活躍のまち」構想の早期策定について（改訂継続）

地域産業並びにコミュニティを支える人材獲得のための、全世代・全員活躍型の「生涯活躍のまち」構想の早期策定を要望いたします。当所ではアクティブシニア世代の移住の受け皿とすべく、令和2年度より桐生版 CCRC (Continuing Care Retirement Community) 構想の早期策定をお願いしてまいりました。現在、国も中高年齢者の移住から全世代・全員活躍型へと方針が転換されているとのことです。桐生市においても、定住・移住を問わないあらゆる世代の人が生涯活躍できるまちづくりを目指すうえで構想の必要性は高いと考えます。

創業意欲を持つ人への支援や、空き屋を活用した住居提供、まちの賑わいを生む交流スペースの整備など、桐生市の既存サービスは充実しております。中高年齢者と子育て世代を含む若年層が共生する桐生ならではの特性を生かし、桐生の暮らしやすさを構想として示すことで、全世代・全員活躍が進むまちとして移住者の獲得にも期待できるものと存じます。人口問題の改善、地域の消費喚起、雇用の維持・創出など、地域活性化にも効果が期待できることから、構想の早期策定について検討いただけますようお願いいたします。

桐生市からの回答

現在の国における「生涯活躍のまち」の考え方は、女性、高齢者、障がい者など誰もが一人ひとりの個性と多様性を尊重され、それぞれの希望に応じて能力を発揮することで居場所と役割を持ってつながり生涯を通じて健康でアクティブに活躍することによって、活性化するコミュニティづくりを目指すものとされています。

本市におきましても、コミュニティの維持・活性化を図り、活力ある地域を実現していくためには、全世代・全員活躍型の「生涯活躍のまち」づくりを推進していくことが重要であると考えられることから、今年度より「生涯活躍のまち」構想の策定について庁内で検討を開始しました。既存の取組内容や地域の強みや弱みを踏まえて、どのような「まちづくり」・「地域づくり」を進めていくのか、今後の取組の方向性をまとめてまいりたいと考えております。

〔回答担当〕 共創企画部企画課企画戦略担当